

広島県

広島県退職校長会

結成 昭和40年7月23日

○ 会の歩み

本会は県内の公立小学校・中学校・高等学校及び特別支援学校の校長経験者（退職者）の組織として、昭和40年7月23日会員数800名で結成された。その後、会員数は3000名を超える組織になったが、平成2年に広島支部、平成18年には高校部会（特別支援学校を含む）が退会し会員数2400名となった。令和3年以降、支部の合併や解散があり、令和7年現在、20支部、会員数約1900名（会費納入免除者を含む）の組織となっている。

○ 活動方針

広島県の教育の発展と充実をめざすと共に、会員相互の親睦と福祉の向上を図ることを目的としている。

- (1) 地域のいろいろな教育活動に積極的に参加する。
- (2) 支部活動を推進する中で、新会員の加入促進を積極的に行い、組織強化に努める。
- (3) 会報・事務局だより・ホームページを通して、会員相互の絆を強め、更なる情報の共有の場となるよう努める。
- (4) 県教育委員会・全国連合退職校長会・中国地区退職校長会連絡協議会・県内の退職校長会をはじめ関係団体との連携を深める。

○ 主な活動内容

- (1) 総会・監査
- (2) 常任理事会・選考委員会：年3回
- (3) 県会報発行：年3回（7月、12月、3月）
- (4) 県教育委員会との教育懇話会実施
- (5) 長寿者への賀詞・記念品贈呈
物故者への弔意（弔電・弔辞）
- (6) 支部役員ブロック別会議
（県内3会場で支部役員との意見交換実施）



- (7) 各支部では、会員相互の絆を深めるため、支部だよりを発行すると共に地域の特色を生かした「絵画・写真等の作品展」を開催